

2022年11月14日

新社屋研究棟の増設に関する 鹿児島市との立地協定締結のお知らせ

株式会社新日本科学(本店 鹿児島県鹿児島市、代表取締役会長兼社長:永田良一、以下「当社」)は、11月14日に鹿児島県立ち会いのもと、鹿児島市と新社屋研究棟開設に関する立地協定締結式を執り行いましたので、お知らせいたします。

締結式は鹿児島市役所にて実施され、鹿児島市長 下鶴隆央様、鹿児島県副知事 須藤明裕様にご出席いただきました。



(写真)左から順に:須藤鹿児島県副知事、新日本科学 二反田専務取締役、新日本科学 永田代表取締役会長兼社長、下鶴鹿児島市長

今回の新社屋研究棟の増設は、医薬品業界において研究開発の迅速化や、費用の効率化等のためCROへのアウトソーシング(外部委託)の動きが拡大する中で、近年好調な受注に対応するためのものです。一連の改装工事と新築工事が完了しますと受託キャパシティは工事前の5割以上増加となり、大型受注にも対応できるようになります。これにより、鹿児島から世界に向けた新薬開発の発信が促進され、同地での雇用の創出や活性化など、地域経済の浮揚発展に大きく寄与するものと期待されています。

新築する建物は、RC造地上8階建て延床面積約13,022㎡で、バイオアナリシス研究部門、分析研究部門、IT部門、研究スタッフエリア、会議室、役員室などを配置します。総工費は付帯

設備工事を含めて約 54 億円を予定しており、2024 年 6 月に完成を目指します。詳細につきましては、2022 年 8 月 26 日付当社プレスリリース「[本社移転および研究棟建設等のお知らせ](#)」も併せてご参照ください。

当社は、今後も「環境、生命、人材を大切にできる会社であり続ける」という企業理念に基づき、「人類を苦痛から解放する」という当社使命を果たすべく、地域に根差した実直な行動を続けてまいります。

<新日本科学について>

株式会社新日本科学(2395:東証プライム)は、国内外の製薬会社や研究機関、バイオベンチャーのパートナーとして医薬品開発業務の受託研究を行う、1957 年創業の国内初の CRO (Contract Research Organization)です。新日本科学グループは、「環境、生命、人材を大切にできる会社であり続ける」という企業理念のもと、CRO 事業においては、基礎研究・創薬を含めた医薬品開発の全ステージを受託できる国内唯一の企業としてパートナーの新薬開発支援に取り組むとともに、トランスレーショナルリサーチ事業では、独自開発した経鼻投与製剤技術やデバイスを活用した自社開発品のライセンス活動に注力しています。また、鹿児島県指宿市では、広大な森林と自然を活用したメディポリス事業を行っており、地熱発電やリゾートホテル運営などを通じて地域経済の振興と環境保全を推し進めるとともに、人々のウェルビーイング (Well-being) と生活の質の向上に貢献し、幸せの連鎖を創造する活動を展開しております。詳細については、HP (<https://www.snbl.co.jp/>)をご覧ください。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

(株)新日本科学 IR 広報統括部 岩田 俊幸

TEL: 03-5565-6216

E-mail: ir@snbl.co.jp

ホームページ: <https://www.snbl.co.jp/>